

内野・五十嵐まち協だより

第7号

発行 内野・五十嵐まちづくり協議会 発行日 平成30年7月

内野・五十嵐
まちづくり協議会
総会・区政懇談会
を開催!



市の廃止施設の有効利用と、 人口減少を踏まえた地域づくり について意見交換

5月17日、内野・五十嵐まちづくり協議会の平成30年度の総会と区政懇談会が開催されました。参加者は、笠原明夢西区長の他まちづくり協議会の役員27名からなる総数45名。

総会に先立って行われた区政懇談会では、内野まちづくりセンターの設立で使用廃止となった旧分庁舎解体後の有効利用について意見交換が行われました。跡地は売却されること

になっていますが、「まちづくりセンター、内野駅につながる内野地区の中心的なエリアなので、地域活性化につながる有効利用を考えてもらいたい」とまち協の田村会長が要請しました。

笠原区長からは、「10月に売却の予定だが、民間と協力した施設利用も考えられる。熱意を持って担当部署に伝え、交渉する」との返事がありました。

地域の人口減少問題については、西区の総人口は2036年には9.1%減の14万3379人になるものの、内野中学校区に限ると他の地域に比べて人口、年少人口、生産年齢人口とも6%ほど増加するとの予測が出ているとのことです。人口減少をゆるやかにするための取り組み、高齢者が生き生きと暮らせる地域づくりが大切であることを全員で確認しました。

引き続き開かれた総会では、以下のような内容で討議・承認が行われました。

- ①平成29年度の事業報告と決算
- ②平成30年度の事業計画と予算
- ③新役員紹介と承認・・・事務局長・文化スポーツ部長＝松浦光芳(前任者退任のため)

平成30年度の事業はすでにスタートしており、これから行われる事業・イベントも目白押しです(2～3面で紹介)。積極的にご参加ください。

内野といえば新川

内野中学生も参加して新川のごみ拾い

まち協に参加している「越後新川まちおこしの会」による新川周辺の清掃活動が11年目を迎えました。2008年から毎年春と秋に行っていますが、6年前から内野中学校の生徒も参加しています。

今年は6月9日に実施。参加者は140名で、中学生が109名を占めました。新川と西川が立体交差する水路橋～往来橋間、広通江周辺の河川敷約3キロを手分けしてごみを拾いました。

菓子袋やペットボトルなどのほか、家電や自転車などありとあらゆるごみが捨てられていました。年を追って少しずつ成果は見えるものの、本格的なごみの減量には至っていません。今回は、燃えるごみ190キロ、燃えないごみ30kg。テレビと自転車が1台ずつありました。参加した生徒は「ごみをきちんと片付けられるよう周りに呼びかけたい」と話していました。

「会としても、ごみを捨ててはいけないという意識を子どもの頃から身につけさせ、地域全体の考えを変えていかなければならないと考えています」(越後新川まちおこしの会世話人の加藤功さん)。



うちの
きれいに!

「内野一斉クリーンデー」

今年も1,350人が参加

毎年、「うちのをきれいに!」を合い言葉に、内野地区の環境美化活動の一環として実施している「内野一斉クリーンデー」が6月10日に開催されました。まちづくり協議会に属している15の自治会の住民が参加して、地域のゴミ拾いや雑草取りを行うものです。今年は1,350人もの人たちに参加していただきました。

「ごみのないきれいなまちづくりは地域の大切な課題。意識も次第に高まってきて、参加者も増えてきました。ごみ拾い、草取りも大事ですが、ごみを捨てないという意識を育てていくことが大切だと思います」(生活環境部部長・児玉哲夫さん)

なお、7月16日には、夏の海水浴客に対応するため、五十嵐2の町、五十嵐3の町の海岸清掃も行いました。ご協力ありがとうございました。



内野在住アーティストによる作品展(まち協まちづくり部主催)

新境地 銅版画に挑戦

銅版画 猪爪彦一 展

4月17日～4月28日

内野エリアの皆さんにはすっかりおなじみになった内野在住の猪爪彦一さんの作品展。猪爪さんは油彩のほかに銅版画も手がけており、今回は銅版画を中心にした作品展となりました。「これからの目標は、油彩画集のほかに銅版画集をつくることです」(猪爪さん)

* 3面の「ちょっとおじゃまします!」を参照!



アート
in
うちの

桃山時代の風合い楽しんで

陶芸家 佐々木呼雲 陶芸展

5月8日～5月21日

佐々木呼雲さん(75)は、東京生まれの東京育ち。国家公務員のかたわら、40数年前に陶芸をスタート。16年前、定年退職を機に、両親の実家がある内野西に移り住みました。庭に大人が3人も入れるような窯を築き、桃山時代の志野焼に挑戦しています。

「ふだんは抹茶茶碗、花器、ぐい飲みなどを作っているのですが、今回の作品展には、日常の食生活でも使えるお皿など、手元にある作品を並べました」

佐々木さんの作品は、地元の料理屋さんでも大勢の人に親しまれているとのこと。「ぜひ日頃の料理にも使って、桃山時代の風合いを楽しんでいただきたいですね」(佐々木さん)



価値観が同じ人との 出会いを大切に

画家・畳店経営(一級畳技能士)
猪爪彦一さん(68)

内野町の畳店の3代目を継ぐ

……畳店の3代目に当たるそうですね

戦後、祖父が畳店を開業し、私は3代目です。内野中学では美術部に属していましたが、3年のとき父から家業を継ぐように言われ、OKしました。新潟商業に進み、高校3年間は器楽部で音楽活動に没頭しました。中学や高校の頃に美術や音楽に触れたことが、絵画の世界で生きることに大きな影響を与えていたことを、後に思い知らされました。

高校卒業後は長岡の畳店に住み込んで2年間修行。実家へ戻って仕事を始めたのが20歳でした。当時はいわゆる「建築ブーム」で、どこの家にも畳の部屋があり、とにかく忙しくて忙しくて、休みは月の1日と15日だけ。その頃から中央公民館の油絵の講座で行動美術協会の近藤直行先生から指導を受け、絵を描くことへの情熱が膨らみました。

仕上がった作品はつとめて発表するようにし、講座受講生のグループ展から地元の公募展へ、その後行動美術展へ。初めて個展を開いたのは26歳でした。

イメージを膨らませ、心象風景を描く

……二足のわらじをはく生活だったわけですね。

両方がうまくいくということはありません。昼間の仕事を終えて、絵が描けるのはせいぜい4時間。制作が間に合わず、悔しい思いをしたこともありました。なんとか続けることができたのは、描くこと、作ることは自分の気持ちを伝える手段だと確信できたからです。私の絵は、あえて言えば「半抽象」。静物や風景をそっくり描くのではなく、イメージを膨らませて、心に浮かんだ風景を表現する。その意味では、音楽をやっ

たことが作品づくりに役立っていると痛感しますね。おかげさまでこれまでいくつか賞もいただき、安井賞展には8回入選しました。

……畳職人と画家。自分の腕で仕上げるという点で、似ているところがあるような気がします。

お客さまの部屋に、予定通りに仕上げた畳がびたりと敷き込まれ、お客さまの満足した顔を見ることができるとはひとしおです。絵も似ています。絵を買っていただくことは、価値観が同じ人との出会いの瞬間なのです。20人に見に来ていただいて、1人に共感していただけたらそれが一番の幸せ。そういう思いが私の絵画制作の支えになっています。

……最近では畳の部屋も少なくなってきました。ますます絵画制作に没頭できますね。

いまは日本間が減っているので、いいかどうかは別に絵を描く時間はたっぷりあります。イメージが浮かぶと筆を持ち、途切れると中止する。そんなふうには未完成のままになっている作品が山のようにあるんです。そこに少しずつ手を入れ、作品に仕上げていく。ぜいたくな時間です。これからの目標は2冊目の油彩画集と銅版画集をつくることです。



昭和26年生まれ。新潟市内野の畳店の3代目。57年、行動美術展受賞、会員推挙。以後、安井賞に8回入選。行動美術展会員。個展、グループ展多数。

気持ちよく使っていただけ まちづくりセンターをめざします!

内野・五十嵐まちづくり協議会
事務局長 松浦 光芳(67歳)

まちづくり協議会
まちづくりセンター
に新しい
スタッフが誕生



私は、内野町(七番町)で生まれ育ちました。大学時代を含め十年ほど東京方面で過ごしUターンで新潟市へ戻り、現在は内野山手に住んでおります。仕事は現役を退き、この度ご縁があり「内野地域のまちづくり」のお手伝いをする事になりました。自分のキャリアを生かしながら、地域貢献できればとの思いです。どうぞよろしくお願いいたします。

● まちづくり協議会

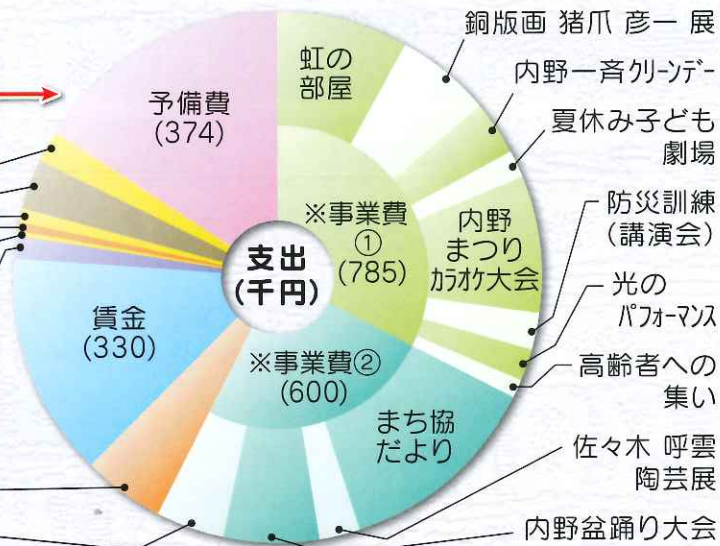
平成29年度決算

収入 2,955(千円)
支出 2,887(千円)
繰越 68(千円)

平成30年度予算

収入 2,404(千円)
支出 2,404(千円)

負担金(45)
役員交際費(80)
会議費(20)
通信費(10)
消耗品費(10)
旅費(30)
役員手当(120)
うちのDE月見酒



※事業費①は地域活動補助金等、事業費②は運営助成金が使われております。

● 市民大運動会

平成29年度決算

収入 898(千円)
支出 0(千円)
繰越 898(千円)

平成30年度予算

収入 898(千円)
支出 898(千円)

● 指定管理料

平成29年度決算

収入 5,835(千円)
支出 5,531(千円)
繰越 304(千円)

平成30年度予算

収入 5,835(千円)
支出 5,835(千円)

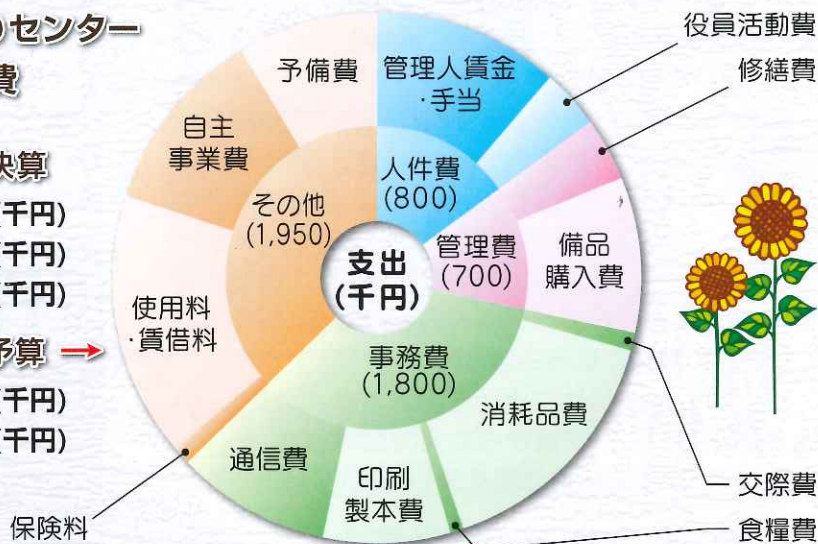
● まちづくりセンター 管理運営費

平成29年度決算

収入 3,878(千円)
支出 2,436(千円)
繰越 1,442(千円)

平成30年度予算

収入 5,250(千円)
支出 5,250(千円)



平成30年事業計画

年3回 まち協だより	8/7~8/8 夏休み子ども劇場
毎月第1水曜日 虹の部屋	9/16 内野まつりカラオケ大会
4/17~4/28、10/16~10/28 銅版画 猪爪彦一展	9/22 新潟大学とドイツ人作家の彫刻展 (講演会)
5/8~5/27 陶芸家 佐々木呼雲 陶芸展	10/2~10/14 内野新川ほたる写真展
6月~9月 防犯パトロール	11/4 うちのDE月見酒
6/10 内野一斉クリーンデー	10/17 防災訓練実施(講演会)
7/16 海岸清掃	12/10~1/10 2018 光のパフォーマンス
7/28 うちのDEピアガーデン	11月以降 高齢者の集い
7/28 内野盆踊り大会	



編集後記

内野ってどんなまち?

急しゅんな山国である日本列島は、わずかな都市部に人口が集中し、ひとたび強烈な雨が降ると崖が崩れ、川が氾濫。7月の西日本豪雨のような惨事となる。町に3本もの川が流れながら、穏やかで美しい内野はつくづく安全でいいまちだと思い知らされました。

このたび、内野小4年生と内野中1年生に、内野のまちや新川の歴史や盆踊りを教える機会がありました。驚いたのは、旧内野町に当たる1番町から7番町に住んでいる子どもが少ないこと。内野や新川にまつわる話を子どもや親たちに改めて伝えていくことの大切さを痛感しました(古俣慎吾)。

※この広報誌「内野・五十嵐まち協だより」は「新潟市補助事業」を利用して発行しています。